

I 平成 28 年度公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団事業報告

1 事業概要

沖縄県保健医療福祉事業団（以下「事業団」という。）では、公益財団法人にふさわしい役割を積極的に果たしていくため、県民の保健及び医療の向上と福祉の増進に関する事業として、平成 28 年度は、健康づくり運動普及啓発事業、臓器移植推進事業、ファミリーハウス事業、勤労者福祉事業の 4 事業を柱に各事業を推進した。

健康づくり運動普及啓発事業では、沖縄県が策定した「健康おきなわ 21（第 2 次）～健康・長寿おきなわ復活プラン～」を踏まえ、沖縄県や関係団体との連携の下、栄養・運動・休養のバランスのとれた健康的な生活習慣を確立するための情報提供を行った。なかでも若年層の健康づくりについて、健康情報誌「いきいき健康あいらんど」で毎号「健康未来おきなわアクション」と銘打ち子どもや若者の問題を取り上げ、健康づくりの実践を促した。

臓器移植推進事業では、臓器移植コーディネーターを配置し、あっせん業務をはじめ、臓器移植推進の普及啓発事業を継続して実施した。特に、院内コーディネーターが臓器提供に関わるための知識をさらに高めるとともに、改善すべき課題などを検討し、十分な活動ができるよう「臓器提供の現場を知るセミナー」にアドバンスコースを新たに設けた。

ファミリーハウス事業では、離島など自宅から遠く離れ、本島の医療機関で治療を受ける子どもや付き添い家族の経済的な負担軽減を図り、心身ともに安らぐことができる宿泊施設「がじゅまるの家」の管理運営を行った。平成 28 年度の利用者数は 3,990 人、稼働率は 67.6%となった。

勤労者福祉事業では、勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う就労支援に対して必要経費を助成し、求職者の就労を支援することで労働者福祉の向上を図った。

平成 28 年度事業の概要は以下のとおりである。

- (1) 健康づくり運動普及啓発事業
 - ア 健康づくりイベントの開催
 - イ 健康づくり情報の提供
 - ウ スマートライフサポート事業
 - エ 助成事業
- (2) 臓器移植推進事業
 - ア 臓器移植コーディネーター受託事業
 - イ 医療機関の移植医療体制整備事業
 - ウ 県民への普及啓発事業
 - エ 日本臓器移植ネットワーク助成事業
 - オ 助成事業
 - カ 賛助会員の募集
- (3) ファミリーハウス事業
- (4) 勤労者福祉事業
- (5) 現有資産の活用
- (6) 資金運用

2 事業実績

ア 健康づくりイベントの開催

(ア) 「いきいき健康あいらんどフェスタ」の開催

健康づくりに対する若年層の関心を高めるため、若者に人気のあるお笑いの要素を盛り込んだ「いきいき健康あいらんどフェスタ 2016」を開催し、健康情報を提供した。参加者数 延べ 1,956 人

・日 時：平成 28 年 11 月 20 日（日）12：00～17：00

・場 所：てんぶす那覇

・内 容：

テンプス前広場 ダンスパフォーマンス等を披露するステージや、ハーブティーの振る舞い、いきいき健康あいらんど展示コーナー等を設置した。また、大型ビジョンを活用し、フェスタのプログラム案内、実況放映等を行った。

テンプス 3 階 健康相談コーナー、野菜クイズコーナー、体力測定コーナー、骨密度測定コーナー、私のからだ発見コーナー、アロマハンドマッサージコーナー等を設置した。

テンプスホール パパイヤ鈴木氏を講師に招き、簡単健康体操教室の実施、また人工透析患者の体験談、お笑いライブ、医師の長田光司氏監修のお笑い健康教室、マジックショー、お楽しみ抽選会などを行った。

(イ) 「健康づくりライブトーク」の開催

県民の健康づくりの動機づけになることを期待し、平成 28 年度は“運動・栄養・笑いでバランス良い健康づくり”をテーマに琉球新報社と共催で「健康づくりライブトーク 2016」を開催した。参加者数 756 人。

・日 時：平成 28 年 11 月 27 日（日）14：00～16：00

・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間

・内 容：【第 1 部】・講演「夢を持ち続ける そしてあきらめないこと」

講師 野村忠宏（柔道家）

・トークショー インタビュアー 伊是名カエ

（管理栄養士・健康運動指導士）

【第 2 部】・講演「たくさんの奇跡が生まれる笑いヨガ！！」

講師 嘉数世利子

（看護師・国際認定ラフターヨガティーチャー）

(ウ) 「こころの健康づくりトーク」の開催

青・壮年期のメンタルヘルス対策として、専門家を招き、沖縄タイムス社との共催により「こころの健康づくりトーク 2017」を開催した。

テーマは“ストレスと上手につきあう～自分を大切に作るテクニック～”。

参加者数 786 人。

・日 時：平成 29 年 1 月 29 日（日）13：30～15：45

・場 所：ロワジールホテル那覇 天妃の間

・内 容：【ミニ演奏会】「真榮田えり子&武田光史のフルートとピアノ演奏」

【第 1 部】講演「自分を支える心の技法」

講師 名越康文（精神科医 相愛大学・高野山大学客員教授）

【第 2 部】講演「パニック症を克服して…～地獄ときどき晴れ

“自分の心と向き合ってきた 10 年間”～」

講師 大場久美子（女優・心理カウンセラー）

(エ) 「県民健康フェア」の開催

県民の健康づくりに対する意識の向上と取り組みを促すことを目的に沖縄県医療保健連合(なごみ会)と連携して「県民健康フェア2016」を開催した。

- ・日 時：平成28年8月21日(日) 12:00~16:00
- ・場 所：コンベンションセンター展示場
- ・参加者数：延べ1,500人

(カ) 食育活動の推進

a 調理実習の実施

健康づくりの視点から体験型食育(調理実習)を沖縄県食生活改善推進員連絡協議会に委託して実施した。

- ・期 間：平成28年6月~平成29年3月
- ・地 域：名護市外8市町村
- ・回 数：9回 (参加者計195人)

b 食育講演会の開催

- ・平成28年6月15日(水)
開催地：宮古島市 講師：宇栄原千春(管理栄養士) 参加人数：30人
- ・平成29年2月14日(火)
開催地：沖縄ガス(那覇市) 講師：伊是名カエ
(管理栄養士・健康運動指導士) 参加人数：81人

イ 健康づくり情報の提供

(ア) 「いきいき健康あいらんど」の発行

健康情報誌「いきいき健康あいらんど」を年4回(7月、10月、12月、3月)各10,000部発行し、公的機関、金融関係、事業所、病院等へ配布した。

また、モノレール各駅等において、勤労者、学生、主婦など一般への配布も行った。

沖縄県市町村職員共済組合が「いきいき健康あいらんど」40号~43号(各1,000部×4回)を追加印刷し、組合員へ配布した。

平成28年度の各号の特集テーマは以下のとおりである。

- Vol.40 健康長寿県復活プロジェクト すぐやる!&続ける!
ホンキの”肥満改善”で病気を防ぐ
- Vol.41 健康長寿県復活プロジェクト うちあたい続出!「大人の食育講座」
これが県民の食の課題だ!
- Vol.42 健康長寿県復活プロジェクト 沈黙の臓器”肝臓”に忍び寄る魔の手
飲みすぎ&肥満、あなたは大丈夫!?
- Vol.43 健康長寿県復活プロジェクト ~上手に使えていますか?~
こころのトリセツ(取り扱い説明書)

(イ) 健康情報発信(ホームページ)

ホームページでイベント案内やウォーキングガイド、「いきいき健康あいらんど」の掲載等、県民の健康づくりを支援するための情報を発信した。

また、長寿復活カロリーチェックサイト「上手に選んだらいいさあ」のスマートフォンやタブレット端末に対応したサイトに延べ1,156件のアクセスがあった。

(ウ) マスメディアの活用

a 新聞

年2回開催される健康づくり講演会の内容を多くの県民へ提供するために新聞紙面(1ページ)を活用した。

- ・「健康づくりライブトーク2016」琉球新報 平成28年12月16日掲載
- ・「こころの健康づくりトーク2017」沖縄タイムス 平成29年2月19日掲載

b ラジオ

(a) 「ラジオいきいき健康あいらんど」の制作・放送

専門医の監修の下、健康づくりに関する情報提供の5分間番組(各局週2回放送)を制作し、6ヶ月間放送した。

- ・放送期間：平成28年9月5日～平成29年2月24日
- ・放送局：FM沖縄(月火)、ラジオ沖縄(火水)、琉球放送(木金)
- ・月間テーマ：9月「肥満」、10月「目の健康」、
11月「風邪」、12月「アルコール・肥満と肝臓」、
1月「大腸がん」、2月「ストレスとうつ」

- ・パーソナリティー：こきざみインディアン

(b) 「こころの健康づくり啓発ラジオCM」の放送

過度のストレスからこころの健康が損なわれ、うつやうつ病などを引き起こさないために一人で悩まず相談しようと呼びかけるラジオCM(20秒2タイプ)を放送した。ナレーターに津波信一氏を起用し、働き盛りの同世代への共感と優しさを込めた内容とした。

- ・放送月：平成28年10月、平成29年2月
- ・放送局：琉球放送、ラジオ沖縄、FM沖縄
- ・放送本数：出勤退勤時間を中心に564本放送

c テレビ

県民に対し効果的に健康づくりの啓発を行うため、タレントの具志堅用高氏を起用し健康づくり啓発テレビCMを制作・放送した。

- ・CM内容：生活習慣病予防対策「運動」編
生活習慣病予防対策「食事」編
生活習慣病予防対策「適正飲酒」編
- ・放送期間：6ヶ月(平成28年10月～平成29年3月)
- ・放送局：琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送
- ・放送本数：琉球放送289本、沖縄テレビ289本、琉球朝日放送289本 計867本
- ・アンケート調査：インターネット調査会社に依頼し、20代～60代の男女(沖縄県在住者限定)のネットリサーチモニタを対象にCM視聴によるインターネット調査を実施した。
(計530名に対しアンケートを実施)

- (結果)
- ①CMをテレビで見たことがあるかの質問については、72.1%が「見た」または「見たような気がする」と回答した。
 - ②CMのインパクトについては87%が「感じる」または「どちらかというと感じる」と回答した。
 - ③CMで示した適正值については、10.9%が「普段から3つとも意識して実践している」、47.5%が「1つから2つ実践している」と回答した。また、9.2%は「今まで実践していなか

ったし、今後もしないと思う」と回答した。

④上記で「今まで実践していなかったし、今後もしないと思う」を選んだ理由は、「関心がない」が44.9%、「気をつけなくても健康だから」が12.2%、「継続できる自信がない」が20.4%だった。

⑤CMは沖縄県の長寿復活の意識づけになると思うかの質問に対しては、70.7%が「なると思う」または「どちらかというとなると思う」と回答した。

ウ スマートライフサポート事業（講師派遣）

(ア) スマートライフセミナー（受託事業）

a スマートライフセミナー

各共済組合の組合員とその配偶者を対象に生活習慣病の予防を目的とした保健・栄養・運動の一日実践型セミナーを開催した。

(a) 公立学校共済組合沖縄支部

- ・平成28年8月1日 対象：全地区 参加者数：66人
- ・平成28年8月10日 対象：全地区 参加者数：61人

(b) 沖縄県市町村職員共済組合

- ・平成28年9月7日 対象：全地区 参加者数：49人
- ・平成28年9月8日 対象：全地区 参加者数：33人

(c) 地方職員共済組合沖縄県支部

- ・平成28年8月24日 対象：全地区 参加者数：35人
- ・平成28年8月30日 対象：全地区 参加者数：30人

b 栄養講座

公立学校共済組合沖縄支部が主催する「生涯生活設計セミナー」において、食に対する意識を高め、生涯を通じて健康的な食生活が実現できるよう栄養講座を開催した。

平成28年7月27日～7月29日 参加者数：215人

c 長寿ライフセミナー

後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、それぞれのレベルに応じた健康の維持、増進を図るため、保健・栄養・運動に関する情報を得る機会としてセミナーを開催した。

- ・受託先：沖縄県後期高齢者医療広域連合
- ・平成28年10月12日 参加者数：49人
- ・平成28年10月19日 参加者数：43人

エ 助成事業

(ア) 市町村健康づくり運動実践活動助成

市町村が実施している健康づくり事業を支援するため、市町村を対象に助成応募者を募り、事業費の10分の7（限度額30万円）の助成を行った。平成28年度は宜野湾市外6市町村であった。

	市町村名	助成対象事業	開催日	事業内容
1	宜野湾市	宜野湾市はごろもウォーキング	H28. 10. 8	「美らがんじゅう体操」の普及とウォーキング大会をタイアップしたイベントを、働き盛り世代が参加しやすい時間帯に開催 参加者数/256人 会場/宜野湾市海浜公園
2	うるま市	平成28年度健康うるま21推進事業	H28. 4 ～ H29. 3. 31	市民の健康意識の向上を図り、健康を増進するために標語の公募や健康づくり推進大会を開催した。 推進大会では標語の発表やダンスの催しや健康ブースの設置などが行われた。 参加者数/3319人 会場/うるま市健康福祉センターうるみん
3	伊是名村	伊是名村健康フェア	H28. 11. 11	全村民を対象に福祉行政の制度の周知、健康活動の推進を行い、健康について自覚するきっかけの場とすることを目的とし、食育事業及び運動実践の事業を行った。 内容は健康昼食販売、パネル展示、健康体操やマッサージ体験、講演など 参加者数/約618人 会場/伊是名村産業支援センター
4	与那原町	よなばるてくてくウォーク2017	H29. 2. 5	町民の体力づくり、スポーツ意識の高揚を図り、健康で明るいまちづくりを目指すことを目的に、ウォーキング大会を開催。 参加者数/549人 会場/与那古浜公園発着・与那原町内
5	東村	東村健康な身体づくりプロジェクト	H28. 6～ H29. 2	村民の健康づくりを支援する為、運動教室（テニポン）、調理実習、講演会を開催した。 参加者数/314人 会場/東村保健福祉センター、東村営体育館
6	国頭村	国頭村運動啓発推進プロジェクト	H28. 9. 20 ～ H29. 2. 28	退職後の元気な方や、普段運動の時間が取れない方を対象に年間を通して運動教室を開催した。 参加者数/208人 会場/くにながみ屋内運動場
7	沖縄市	沖縄市健康ウォーキング大会	H29. 1. 7	「歩く楽しさを知る」ことに重点を置き、市民一人一人が健康への意識をもつきっかけづくりを目指しウォーキング大会を開催した。 参加者数/452人 会場/東南植物楽園

(イ) 健康づくり運動実践活動団体助成

広く県民の健康づくりに寄与するため、地域で健康づくり実践活動を継続している団体に対し、事業経費の助成（限度額 30 万円）を行った。

平成 28 年度は、沖縄県歯科衛生士会外 3 団体であった。

	団体名	助成対象事業名	開催日	事業内容
1	沖縄県 歯科衛生士会	第 23 回 「歯りきり元気 いい歯の日」	H28. 11. 6	「いい歯」の日(11月8日)にちなんで歯周病予防や口腔ケア等の正しい知識の普及啓発としてイベントを開催した。 参加者数/543 人 会場/サンエー西原シティ
2	日本健康 運動指導士会 沖縄県支部	第 9 回 うまんちゅ 健康フェスタ	H29. 2. 26	県民体操「沖縄 Let's プチ体操」を普及し、県民に健康づくりを啓蒙していくことを目的にイベントを開催。 参加者数/460 人 会場/ちむぐくる館
3	津波古区	津波古区 かんたん！ ヘルシー！ クッキング教室	H28. 8. 1～ H29. 3. 20	区民の健康意識を高めることを目的に、簡単にヘルシーな料理の調理実習を行った。 参加者数/1000 人 会場/津波古区公民館
4	つきしろ自治会	つきしろ 健康むら	H28. 8. 1～ H29. 3. 31	壮年期の区民を対象に、医師や大学教授を講師に招いて健康講座を行った。また、専門家の指導の下親子レクを行った 参加者数/310 人 会場/つきしろ公民館、つきしろ児童公園グラウンド

※助成を予定していた沖縄県医療ソーシャルワーカー協会の事業は（H28. 8. 20～21）台風のため中止となった。

(2) 臓器移植推進事業

(腎臓移植の状況)

沖縄県における慢性透析患者は毎年増加し、平成 28 年 4 月末現在では約 4,600 人、特に糖尿病による透析患者数は増加の一途をたどっており、そのうち約 227 人（平成 28 年 12 月現在）が（公社）日本臓器移植ネットワークに献腎移植希望登録を行っている。

平成 9 年に臓器の移植に関する法律が施行されてから、平成 22 年 7 月 17 日に臓器移植改正法が施行されるまでの約 13 年間で、脳死下臓器提供件数は全国で 86 例であったが、臓器移植改正法の施行後は急増し、平成 26 年 50 例、平成 27 年 58 例、平成 28 年は 64 例と過去最も多い脳死下臓器提供数であった。沖縄県においても平成 26 年に県内初の脳死下臓器提供が沖縄県立中部病院で実施され、平成 29 年 2 月に県内で 2 例目の脳死下臓器提供が実施された。

ア 臓器移植コーディネーター受託事業

臓器移植連絡調整者設置事業を沖縄県から受託し、臓器移植コーディネーターを設置して、移植に関わる医療機関の医師等との情報交換並びに移植医療の普及啓発の強化を図った。

(ア) 臓器提供者（ドナー）発生時の対応（あっせん業務）

平成 28 年度の本県におけるドナー情報数は、昨年度と同じ 17 件であった。その内、5 人の方（ドナー）が心臓停止後または脳死下で腎臓を提供され、県内で 9 人の患者（レシピエント）へ腎臓移植が行われた。

数字：件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
情報数	3	2	2	1	1	2	1	0	2	0	2	1	17
移植数	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	3	0	9

(イ) 臓器移植推進委員会の開催

臓器移植医療の専門的立場からの指導助言を受け、臓器の移植医療に対応できる組織体制を構築する必要があることから、専門医による推進委員会を前年度に引き続き開催した。

第1回

開催日時：平成28年8月24日（水）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

第2回

開催日時：平成28年12月12日（月）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

第3回

開催日時：平成29年3月15日（水）19:30～21:00

開催場所：沖縄県保健医療福祉事業団 5階会議室

イ 医療機関の移植医療体制整備事業

(ア) 病院啓発

県内医療機関を延べ145回巡回し、移植関連情報の提供や院内体制の充実に努めた。

(イ) 臓器提供の現場を知るセミナーの開催

臓器提供の増加のため、死生観やコミュニケーションスキルの講義を通して、課題である急性期における終末期医療の場面で活動できる医療スタッフの育成を目指し、セミナーを開催した。

「臓器提供の現場を知るセミナー」

開催日時：平成28年11月9日（水）～10日（木）

開催場所：喜瀬ビーチパレスホテル

参加者：10人

(ウ) 沖縄 TPM モデル臓器提供アドバンスコースセミナーの開催

臓器提供の意義を理解しチームとして臓器提供に関わるための基礎的な流れや知識を習得する。また、臓器提供・移植に関わるなかで、何が障害となり何を改善すべきかを検討する。県内においても院内 Co が十分な活動ができるよう、育成すべく本セミナーを開催した。

開催日時：平成29年3月20日（月）9:00～17:00

開催場所：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 2階講堂

参加者：21人

(エ) 移植医療セミナー（TPM）への派遣

移植医療推進のため、臓器提供者（ドナー）の発見、脳死診断、ドナー家族へのアプローチ法等を学習するセミナーへ救急医等の専門家を派遣した。

派遣先：スペイン バルセロナ

派遣者：岩永 航（浦添総合病院 救急集中治療科医師）

研修期間：平成28年11月14日（月）～18日（金）

ウ 県民への普及啓発事業

- (ア) 臓器提供意思表示カードの配布及び所持・意思表示欄への記載を推進するため、県、市町村及び関係機関の協力を得てカードの設置や健康保険証・自動車免許証等への記載推進について普及啓発を行った。
- ・市町村、関係機関等へ意思表示カードの補充を行った。
 - ・意思表示関連ブックカバーを1万枚作成し、ジュンク堂、戸田書店、宮脇書店など県内の書店5社13店舗へ配布した。
 - ・臓器提供意思表示の普及推進の為、新聞紙面の一面やテレビ面へ広告掲載した。

琉球新報・・・80回

沖縄タイムス・・・80回

- (イ) 臓器移植普及推進月間（10月）行事

毎年10月に実施している「臓器移植普及推進月間行事」を沖縄県、（財）沖縄県アイバンク協会、（一社）沖縄県医師会、（一社）沖縄県腎臓病協議会、沖縄県臓器移植推進協議会、（公社）日本臓器移植ネットワークなどとの共催により次のとおり実施した。

- a 街頭キャンペーン・観覧車グリーンライトアップ

開催日時：平成28年10月1日（土）17:00

開催場所：北谷町美浜カーニバルパーク広場前

内 容：パンフレット及びシンポジウム案内チラシの配布。

移植医療のシンボルマークであるグリーンリボンにちなみ、観覧車をグリーン一色にライトアップ。

- b 臓器移植を知るシンポジウム2016の開催

テ ー マ：「命のバトン つなげるキミの 意思表示」

開催日時：平成28年10月30日（日）14:00～16:00

開催場所：沖縄県立博物館・美術館 講堂

参加者：78人

内 容

【表彰式】

公募によって選ばれたシンポジウムキャッチフレーズ作品及び沖縄グリーンリボンアート展で選出された優秀作品への授賞式

（キャッチフレーズ最優秀賞）

（沖縄グリーンリボンアート展 沖縄御万人賞）

（沖縄グリーンリボンアート展 審査員賞）

【基調講演】

「小児臓器提供～子供を守るための意義～」

講師：秋山 政人（新潟県臓器移植推進財団）

【献腎移植者体験発表】

喜納 政克

【心臓移植支援報告】

翁長 司

【質疑応答】

和氣 亨（沖縄県立南部医療センター 医師）

秋山 政人（新潟県臓器移植推進財団）

平川 達二（沖縄県臓器移植コーディネーター）

- 松田 瞳（沖縄県立中部病院 レシピエント移植コーディネーター）
- (ウ) 移植医療へのメッセージ「沖縄グリーンリボンアート展」の開催
シンポジウム会場や公的機関において、作品展を開催し移植医療の尊さについて県民へ啓発を行った。
- ・県庁県民ホール：平成 28 年 9 月 5 日（月）～18 日（金）
 - ・県立中部病院：平成 28 年 12 月 13 日（火）～平成 29 年 1 月 6 日（金）
- (エ) イベントの活用
臓器提供意思表示カード及びパンフレットの配布を下記のとおり行った。
- 「首里城下町クリニック合同夏祭り」
開催日時：平成 28 年 6 月 25 日（土）
開催場所：那覇市おおみじゃ眼科駐車場
- 「ものづくりフェスタ」
開催日時：平成 28 年 10 月 15 日（土）・16 日（日）
開催場所：那覇市波の上うみそら公園
- 「琉球ゴールデンキングス主催試合」
開催日時：平成 28 年 10 月 23 日（日）
開催場所：沖縄市民体育館
- 「いとまんピースフルイルミネーション」
開催日時：平成 28 年 12 月 17 日（土）・18 日（日）
開催場所：糸満観光農園
- 「第 29 回なんぶトリムマラソン」
開催日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）
開催場所：糸満市西崎総合体育館

- (オ) 移植医療情報の提供
臓器提供意思表示啓発ラジオ CM を制作し放送をおこなった。
テーマ：「聞いてみよう、家族のキモチ。」娘篇、母親篇、父親篇各 20 秒
放送期間：平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月
放送局：FM 沖縄（169 本）、ラジオ沖縄（84 本）、RBCi ラジオ（84 本）
放送本数：計 337 本
- ※「聞いてみよう、家族のキモチ。」シリーズ
第 34 回 沖縄広告賞 ラジオ広告 ラジオシリーズ CM 部門 金賞受賞
 - ※「聞いてみよう、家族のキモチ。」母親篇
第 34 回 沖縄広告賞 ラジオ広告 20 秒以内 CM 部門 金賞受賞

エ 日本臓器移植ネットワーク助成事業（単年度事業）

(ア) 地域支援事業

「院内移植情報担当者会議」の開催

開催日時：平成 28 年 10 月 14 日（金）

開催場所：沖縄県庁 4 階 会議室

参加者：30 人（12 施設）

内 容：開会のあいさつ

沖縄県保健医療部 薬務疾病対策課長 玉城 宏幸

講演「沖縄県の臓器提供の現状」

平川 達二（沖縄県臓器移植コーディネーター）

講演「スペイン TPM 研修報告」
～私が経験したスペインでのできごと～
宮川 幸子（県立南部医療センター 救急科医師）
講演「臓器提供意思確認」の実践
名取 良弘（飯塚病院 副院長 脳外科部長）

「臓器移植を知るシンポジウム in 石垣島」の開催
開催日時：平成 29 年 2 月 26 日（日）14:00～16:00
開催場所：石垣市民会館 中ホール
参加者：39 人
内 容：講演「沖縄県の献腎移植の現状」～意思表示の大切さ～
平川 達二（沖縄県臓器移植コーディネーター）
講演「臓器提供する方、受ける方」
宮里 均（沖縄県立中部病院 腎臓内科部長）
講演「腎移植ってどんな治療？」～腎移植の最新事情～
大田 守仁（豊見城中央病院 外科部長）

オ 助成事業

- (ア) 組織適合性検査の助成
献腎移植登録可能施設（沖縄県立中部病院・豊見城中央病院）で、組織適合性検査を受けた臓器移植希望者 18 人に対して、一人 2 万円の助成を行った。
- (イ) 沖縄県腎臓病協議会への助成
沖縄県腎臓病協議会が実施する QOL 向上を目指した学習会や講演会等費用の一部を助成した。

カ 賛助会員の募集

賛助会員（1 口：3 万円）加入の協力を、医療機関及び企業団体等に呼びかけたところ、12 団体から 21 口、63 万円の会費収入があった。

(3) ファミリーハウス事業

離島など遠隔地から「南部医療センター・子ども医療センター」等に入院又は受診する難病等の子どもや付添い家族のための滞在施設として、ファミリーハウス「がじゅまるの家」の運営をNPO法人「こども医療支援わらびの会」に委託して行い、病児及び家族の経済的負担や精神的不安の解消に努めた。平成28年度の稼働率や利用者数等は次のとおりである。

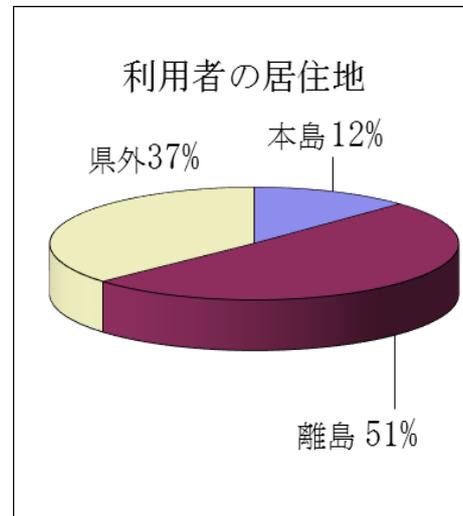
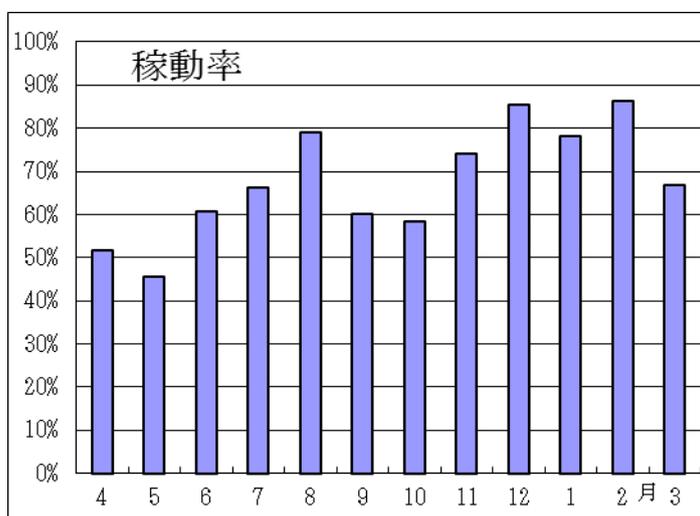
ファミリーハウス「がじゅまるの家」利用状況

月	営業日数	利用室数	稼働率	利用者数(人)				
				沖縄県			県外	合計
				本島	離島	計		
4	30	155	51.7%	39	115	154	127	281
5	31	141	45.5%	35	136	171	88	259
6	30	182	60.7%	72	171	243	124	367
7	31	205	66.1%	17	197	214	138	352
8	31	245	79.0%	47	219	266	226	492
9	30	180	60.0%	28	181	209	57	266
10	31	181	58.4%	12	221	233	52	285
11	30	222	74.0%	27	183	210	123	333
12	31	265	85.5%	53	181	234	152	386
1	31	242	78.1%	48	141	189	147	336
2	28	242	86.4%	74	152	226	113	339
3	31	207	66.8%	50	124	174	120	294
計	365	2,467	67.6%	502	2,021	2,523	1,467	3,990

※年度別稼働率 H20:56.7%、H21:57.0%、H22:77.7%、H23:70.1%、H24:71.9%、H25:71.6%
H26:58.5%、H27:64.4%

居住地別利用者数(人)

沖縄県	2,523	鹿児島県	1,046	神奈川県	40	大阪府	9
兵庫県	20	福岡県	54	三重県	96	愛知県	22
千葉県	34	熊本県	2	東京都	15	群馬県	9
インドネシア	10	岡山県	6	和歌山県	5	茨城県	37
佐賀県	24	大分県	3	外8県	35	計	3,990



(4) 勤労者福祉事業（就労支援事業）

勤労者の福祉の向上等に取り組む団体が行う事業で、地域において勤労意欲のある者に対する就労の支援に対し、その必要経費の一部を助成した。

ア 助成団体：（公財）沖縄県労働者福祉基金協会（以下「労福協」という。）

イ 事業内容

(ア) 就労困難者に対する雇用に関する相談及び指導

a ワンデイセミナー（就職力アップ）

・掃除セミナー・ビジネスマナー等

実施回数：29回

場 所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

受講者：106人

b 自己学習の場の提供・サポート

・セミナーの予習、復習や履歴書作成等に個別対応

実施回数：随時

場 所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

受講者：212人

c 中間的就労（農作業や軽作業・接客業体験）

実施回数：7回

参加者数：61人

(イ) 就労困難者に対する雇用に関する情報収集及び提供

a 無料職業紹介事業（「就労困難者」にマッチングした求人開拓）

実施回数：随時

利用者数：13人

b 調査研究（働く人のためのガイドブック作成及び配布）

実施回数：随時

場 所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

配布先：224ヶ所、配布数：1,000部

(ウ) 資格取得、技術又は技能の習得等職業能力を高める事業

a 調理師資格取得試験準備講習会

実施回数：6日×3会場

場所：那覇、北部、中部にて集中講座

参加者数：524人

b 原付免許取得直前講習

実施回数：1回

場所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

参加者数：4人

c パソコン検定取得直前講習

実施回数：10日間×5回

場所：グッジョブセンターおきなわ

参加者：40人

d パソコン初歩セミナー

実施回数：連続セミナー年9回（通算45日間）

1Dayセミナー年40回（通算37日間）

場 所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

受講者：409人

(エ) その他就労支援のために必要な事業

a 相談員スキルアップセミナー（人材育成）

実施回数：3回

場所：グッジョブセンターおきなわ3階（那覇市）

参加者数：98人

b 子ども・若者支援員養成講座

実施回数：1回

場所：沖縄タイムス社

参加者数：301人

事業の延べ参加者数：1,768人

※ 労福協 就労サポートセンター事業の実施状況

セミナー・研修名		4月～3月	合格率	参考
		延べ人数		(就職率)
(ア)	ワンデイセミナー（就労支援）	106		27.8%
	自己学習の場の提供	212		
	中間的就労	61		
(イ)	無料職業紹介事業	13		30.8%
	調査事業	配布先 224ヶ所 配布数 1,000部		
(ウ)	調理師資格取得試験準備講習会	524	67.9%	
	原付免許所得直前講習	4	33.3%	
	パソコン検定取得直前講習	40		45.0%
	パソコン初歩セミナー	409		50.7%
(エ)	相談員スキルアップセミナー	98		
	子ども・若者支援員養成講座	301		
合計		1,768		

(5) 現有資産の活用

ア 事業団が所有する施設（旧健康増進センター）を民間フィットネス事業者（株式会社フィットネスプロモーション）へ定期賃貸借契約（平成17年から15年間）により賃貸した。また、今年度は温泉汲み上げ動力装置を設置し温泉の安定供給を行い、併せて同装置の設置や維持費の増加に伴う温泉供給料金の改定を行った。

同事業者が運営するジスタス浦添の平成28年度施設利用者の延べ人数は594,000人となっており、県民の健康増進に活用された。

イ 温泉をくみ出す際に生じる水溶性天然ガスを燃料とするコージェネレーション事業（分散型発電）設備設置の土地（132㎡）を鉱業権者株式会社シントーへ事業用定期借地権設定契約公正証書（平成22年6月から10年間）により賃貸した。

なお、事業開始については、地域住民の承諾が得られず平成22年6月以降発電設備は運転停止中である。

(6) 資金運用

事業団資産運用基準（平成14年3月28日制定）に基づき、リスク軽減措置を講じたうえで、資金の安全かつ効率的な運用に努め、平成28年度は当初予算を上回る収入を確保することができた。日経平均株価に連動する債券については、早期償還された後もほぼ同様の利率で後継債券を購入することができたが、為替に連動する債券は長期金利の低下に伴い利率が下がったため、実績では前年度の運用益を下回った。

ア 損益ベース（正味財産増減計算書から）

運用の種類	平成28年度				平成27年度				対前年度増△減	
	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	構成 比	運用益 (千円)	利回 り	運用額 (千円)	運用益 (千円)
銀行預金	1,720,000	22.4%	4,204	0.24%	1,720,000	22.4%	4,646	0.27%	0	△442
有価証券	5,960,000	77.6%	176,488	2.96%	5,960,000	77.6%	206,089	3.45%	0	△29,601
計	7,680,000	100%	180,692	2.35%	7,680,000	100%	210,735	2.74%	0	△30,043